学校番号	213

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身近な健康問題・社会問題に結びつけて、興味関心をもつ。
・「保健」と「体育」の内容を密接に関連付けて取り扱うようにする。
・生涯にわたり、健康を保持増進するための知識を身につけ、理解できるようにする。
・健康や安全について課題を知り、個人的取り組み、社会的取り組み等の解決方法を考えられるようにする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・生涯にわたり、健康を保持増進するための知識を身につけ、理解しよう。
【思考力、判断力、表現力等】
・身近な健康問題・社会問題に結びつけて、興味関心をもって取り組もう。
・健康や安全についての個人的取り組み、社会的取り組みがあることを理解しよう。
【学びに向かう力、人間性等】
・様々な健康や安全の課題があることを知り、自分事として解決方法を考えてみよう。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたって健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	生涯にわたって健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	生涯にわたって健康を保持増進するためには、我が国の保健･医療制度や機関の活用することや環境や食品､労働にかかわる対策が重要であることに関心を持ち､生涯の各段階の健康課題について意欲的に学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代社会と健康	思春期と健康 1．思春期における体の変化と性機能の成熟 2．思春期における心の変化と健康課題	a：社会の意識変化に伴って思春期の健康課題も変わってきていることを理解し、新たな健康課題について知る。 b：思春期の性的成熟の背景について考え、自身の考えを整理し、説明することができる。 c：思春期におけるさまざまな課題を調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		性意識の変化と性行動の選択 1．性意識の変化と異性の尊重 2．性に関する情報と性行動の選択	a：正しい性情報について知る。 b：性意識の違いについて分析し、課題を見つけたり、説明したりすることができる。 c：性意識や性行動について学び、関心を持って学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		結婚生活と健康 1．結婚・婚姻状況と健康 2．夫婦関係、親子関係と健康	a：結婚や家族に関連する健康課題について理解し、その対策等を含めた事柄について記述、説明することができる。 b：結婚に関連した事例などと比較したり分析したりする。 c：結婚に関連している要因を調べるなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		妊娠・出産と健康 1．受精・妊娠・出産 2．母子の健康のために	a：妊娠・出産期におこる健康課題について理解を深め、説明することができる。 b：妊娠・出産に関する健康課題について理解し、分析する。 c：妊娠・出産にについて学び、強い関心を持って学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価

		家族計画 1. 家族計画の意義 2. 避妊法の選択と人工妊娠中絶	a: 避妊法について記述・説明できるようにする。 b: 人工妊娠中絶について分析し、その課題を見つける。そのメリット・デメリットを互いに発表する。 c: 家族計画の意義や避妊法について理解を深め、学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		加齢と健康 1. 加齢による心身の変化 2. 中高年期を健やかに過ごすために	a: 高齢者の健康課題の例をあげ、その取り組みについて理解し、その対策について記述、説明できる。 b: 壮年期以降の健康課題の要因と自身の日常の生活行動を比較・分析し、課題を見つけたり、説明したりすることができる。 c: 壮年期以降の生活行動について調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		高齢社会に対応した取り組み 1. 高齢者と取り巻く状況 2. 高齢者を支える社会の取り組み	a:高齢者を取り巻く状況を理解することができる。 b:高齢者を支える社会の取り組みについて分析し、課題をみつけたり説明したりすることができる。 c:保健・医療・福祉の連携について調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
2学期		働くことと健康 1. 働くことの意義と働き方の変化 2. 働く人における健康問題の現状	a: 労働者の積極的な健康づくりを理解し、具体的に説明、記述することができる。 b: 労働者の健康づくりについて、理解したこと、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 c: 労働の意味について調べたり、意見交換・話合いなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価

		労働災害の防止 1．日本における労働災害の推移 2．労働災害を防止するための仕組み	a: 労働災害や職業病について理解し、発生に至る社会的要因と個人的要因について説明・記述することができる。 b: 労働災害や職業病について考え、発生の原因について自身の考えを発表したり整理したりすることができる。 c: 労働災害や職業病について調べたり、意見交換・話合いなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		働く人の健康づくり 1．職場における健康の保持･増進活動 2．日常生活における健康の保持･増進活動	a: 労働者の健康・安全へのさまざまな対処法の例をあげることができ、余暇への意識について考え、記述することができる。 b: 労働者の健康・安全を守る仕組みについて調べ、理解したこと、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 c: 職場の健康・安全について、資料を調べたり、読んだりする学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		大気汚染と健康 1．大気汚染による健康への影響 2．気球規模の大気環境問題	a: 大気汚染がもたらす健康被害について理解し、環境対策について例を上げ、説明することができる。 b: 大気汚染がもたらす健康被害について過去におこった公害の事例を基に汚染対策について分析することができる。 c: 大気汚染による健康被害や、有害物質について調べたり、意見交換･話合いをするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価

	現代社会と健康	水質汚濁･土壌汚染と健康 1．水質汚濁による健康への影響 2．土壌汚染による健康への影響	a：大気・水・土壌の密接な関連について理解し、説明することができる。 b：水質汚濁・土壌汚染がもたらす健康被害について過去におこった公害の事例を基に汚染対策について分析することができる。 c：水質汚濁・土壌汚染による健康被害や、有害物質について調べたり、意見交換・話合いをするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		健康被害を防ぐための環境対策 1．環境汚染の防止とその対策 2．産業廃棄物の問題と新たな環境汚染の課題	a：環境汚染による健康被害について理解し、日本や地球規模における環境対策について例を上げ、説明することができる。 b：環境汚染による健康被害に対しての事例を基に、汚染対策について分析することができる。 c：環境汚染による健康被害とその防止策ついて調べたり、意見交換･話合いをするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		環境衛生に関わる活動 1．安全な飲み水の供給と汚水の処理 2．生活環境を守るごみ処理	a：ゴミ問題が心身の健康や社会に与える影響について理解し、その減量化に向けた個人や社会の対策について説明、記述することができる。 b：ゴミ問題が社会にも影響があることを知り、自身でできるゴミ問題への対策について考え、発表することができる。 c：我が国の水道事業やゴミ問題について資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価

3学期		食品の安全性と健康 1.　食品の安全性と課題 2.　食品の安全性の確保	a: 食品による健康被害に関して例をあげて説明したり、予防対策について、個人でできる対策と社会的な対策について記述・説明できる。 b: 食品による健康被害を予防するためにはどのような対策が必要か、個人でできる対策、社会的な対策を考えることができる。 c: 食品による健康被害について調べたり、発表するなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		食品の安全性を確保する取り組み 1. 食品の安全性を確保する行政、生産・製造者の役割 2. 食品の安全性の確保と私たちの役割	a: 食品に関わる健康問題で、消費者が身につけるべき態度について理解し、説明や記述することができる。 b: 食品による健康被害の現状を知り、被害発生の理由やどのように予防するのかを考え、意見交換することができる。 c: 食品に関わる健康課題について解決に向けての調べものや、意見交換・話合いなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		保健制度とその活用 1. 生涯を通じて病気から人々の健康を守る保健行政 2. 健康の保持・増進のために活用できる保健サービス	a: 我が国の保健・医療制度について理解し、利用法について記述、説明することができる。また、自身の生活を見直し、具体的な改善方法を考えることができる。 b: 自分に関わる保健・医療制度について比較・分析し、課題を見つけたり、説明したりすることができる。 c: 我が国の保健・医療制度について資料を探したり、調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価

		医療制度とその活用 1. 医療制度と医療保険 2. 医療機関の役割と適切な活用	a:医療保険の仕組みや国民皆保険について理解することができる。 b:インフォームドコンセントやセカンドオピニオンについて、自分の経験を交えながら説明することができる。 c:献血や臓器移植などについて、資料を探したり、調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
	現代社会と健康	医薬品の制度とその活用 1. 医薬品の種類と承認制度 2. 医薬品の使い方	a: 自分たちが使用する医薬品について理解し、使用法について記述、説明できる。 b: 自分たちが使用する医薬品について比較・分析し、説明することができる。 c: 医薬品について資料を探したり、調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		様々な保健活動や対策 1. 地球規模の健康課題を解決する取り組み 2. 様々な機関･組織の活動	a: ヘルスプロモーションの必要性について理解し、積極的な健康生活のおくり方を説明･記述することができる。 b: ヘルスプロモーションへの積極的な取り組みが健康に及ぼす影響について調べたことを基に、自身の生活と比較･分析することができる。 c: 健康な生活を送る上でのヘルスプロモーションの意味について調べ、まとめるなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価
		誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり 1. すべての政策や取り組みに健康の視点を 2. 多様な人や組織が参加して進める環境づくり	a: 誰もが健康に過ごすことのできる社会について理解することができる。 b: これからの環境づくりについて自身の生活と比較･分析することができる。 c: 行政・企業などの健康に関する取り組みについて調べ、まとめるなどの学習活動に取り組もうとする。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	授業ノートの質、授業内のレポートや、主体的なメモなど総合的に評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度